

# 国語科学習指導案

日 時 令和3年  
 生 徒  
 指導者

1. 単元名 「人工知能との未来／人間と人工知能と創造性」 (光村図書 中学3年)

## 2. 単元について

### (1) 目標

- 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる (知・技(2)イ)
- 文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。(思・判・表C読むこと(1)イ)
- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。(思・判・表C読むこと(1)エ)
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。(主体的に学習に取り組む態度)

### (2) 単元の指導計画及び評価計画

全 3 時 間	学習活動	観 点			
		知 ・ 技	思 ・ 判 ・ 表	態 度	<評価>
					<振り返る活動の視点>
1	・学習の見通しをもつ。 ・それぞれの文章の要旨を捉える。	・	○		知・技 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。 思・判・表 それぞれの文章の内容を読み取り、「これからの時代に大切なこと」について要旨をまとめている。 ア①・② - 1
2 (本時)	・観点を決めて文章を比較し、筆者の意見に対する考えを話し合う。	○	・	・	知・技 自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。 思・判・表 二つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に、話し合っている。 態度 積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 イ① ア② - 2
3	・自分の考えを文章にまとめる。		○	○	思・判・表 自分の立場を明確にし、根拠となる事実を引用するなどして、自分の意見を書いている。 態度 積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 イ②

生徒の学習状況について記録に残す評価を「○」、指導に活かすための評価を「・」としている。

### 3. 研究主題との関連

#### ア 振り返りの視点を明確にする

場 面	①文章の内容を読み取る際、「情報の信頼性」の学習を振り返らせる。 ②終末の場面で、筆者（他者）の意見や根拠に納得できたかどうかや疑問点について「振り返りシート」に記入させる。
意図や工夫	①信頼性について、筆者の示す体験や実験結果と筆者の意見との結び付きを確かめるとともに、自分の知識や経験から納得できるかどうかを考える。 ② - 1 気づきや疑問点を確認することで、次時のディスカッションでの意見や根拠を整理することができる。 ② - 2 ディスカッションでの気づきや疑問点を振り返ることで、次時の活動の手がかりとする。

#### イ 有効的な振り返りの活用

場 面	①自分の意見を整理する際、前時にまとめた要旨やワークシートを振り返らせる。 ②意見文を書く際、前時のディスカッションの内容を振り返らせる。
意図や工夫	①前時にまとめた要旨や共有したワークシートを参考にする事で、「これからの時代」とはどんな時代か、その時代の中で「大切なこと」は何かを考える手がかりとする。 ②前時のディスカッションの内容を手がかりに、自分の考えを整理することができる。

#### 4. 本時について

##### (1) 本時の目標

○自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討できる。知・技

##### (2) 本時の展開

	生徒の学習活動	教師の手立て	評価の規準・方法 留意点
導入 5分	(1) 前時の学習を振り返る。  ・賛成する(近い)意見に挙手。隣の人と、手短かに理由を述べ合う。  (2) 本時の目標を確かめ、学習の見通しをもつ。	・前時の学習を想起し、二つの文章の要旨を確認する。 ・どちらの意見に賛成(近い)かを確認する。  ・本時の目標を確認する。	
	文章の比較を基にディスカッションし、考えを広げよう。		
展開 40分	(3) <b>個人思考</b> 二つの文章を比較して、共通点や相違点をワークシートに記入し、確かめる。	・前時の内容を参考に、ワークシートに記入させる。 ・机間指導 ・人工知能に対する考えについて、肯定と賛成の違いに気づかせる。	
	(4) <b>グループ</b> まとめたワークシートをグループで共有する。	・各グループで、 ①比較して気づいたこと。 ②どちらの筆者の意見に共感したか。 ③疑問点。 の3点を共有させ、必要に応じて加筆させる。	
	「これから時代」とはどのような時代か。 その時代で「大切なこと」とは何か。を考えよう。		
	(5) <b>個人思考</b> 「これからの時代に大切なこと」について、筆者の考えを基にして、自分の考えを持つ。	・話し合う前に、自分の意見や根拠を整理させる。 ①「これからの時代」とはどんな時代か。 ②自分が「大切」だと考えたことと、その根拠。	イ①前時にまとめた要旨や共有したワークシートを参考にすることで、「これからの時代」とはどんな時代か、その時代の中で「大切なこと」は何かを

	<p>(6)「これからの時代に大切なこと」についてディスカッションする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで出た意見や考えなどをワークシートにメモする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の討論は、決定を目指すものではなく、他者の考えに触れ、<u>考えを広げたり深めたりする</u>ことがねらいであると伝える。</li> <li>・「意見・根拠」を明確にした端的な発言による活発な意見交流を意識させる。</li> </ul>	<p>考える手がかりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討しようとしている。<b>知・技</b>(ワークシート)</li> <li>・二つの文章を比較して、表にまとめた共通点や相違点を基に、話し合っている。<b>思・判・表</b>(ワークシート)(ディスカッションの様子)</li> </ul>
終末5分	<p>(7)「振り返りシート」記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えがどう広がったか、深まったか、変わったか等を記入する。</li> <li>・自分の意見に近いものに挙手をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机間指導</li> <li>・どの意見に近いかを確認する。(羽生さん・松原さん・他)</li> <li>・次時は、本文や討論を基に、自分の考えをまとめることを伝える。</li> </ul>	<p>ア② - 2 気づきや疑問点を確認することで、本文や討論を基に、自分の考えを文章にまとめることができる。</p>

### (3) 本時の評価

○自分の知識や経験と比べ、筆者の意見や根拠に納得できるかどうか検討できたか。**知・技**

## 5. 板書計画

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 端的に。</li> <li>・ 意見と根拠を明確に。</li> <li>・ 考えを広め、深める。</li> <li>・ ディスカッション</li> <li>・ 疑問点</li> <li>・ きづいたこと・どちらに共感したか</li> <li>・ <b>共有</b></li> </ul>	4	3	2	1	観点	<p>目標</p> <p>文章の比較を基にグループで討論し、考えを広げよう。</p> <p>十月二十一日(木) 神無月</p> <p>人工知能との未来／人間と人工知能と創造性</p>
			<p>前回の「要旨」</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 将棋ソフトと人間の棋士との間での事象</li> <li>○人工知能を使う立場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○肯定(消極的)</li> <li>・ 違和感・不安</li> <li>○どのように対応するかを考えたほうが現実的。</li> <li>○人工知能を</li> </ul>	

## 6. 本時の資料

・ ワークシート 振り返りシート